

児童指導員科 (発達障害支援者養成)



■発達障害児・者支援のプロを育てる

わが国では、発達障害児・者^{※1}やその保護者が『生きづらさ』や『育てにくさ』を感じることなく、日常生活や社会生活を営むことができることを目指し、乳幼児期からの各ライフステージを通じた切れ目のない支援の充実に取り組んでいます。児童指導員科ではこれらの支援を担う、発達障害分野における福祉専門職の養成を行っています。障害者支援のナショナルセンターである当センターならではの学習環境とカリキュラムで、「理論」と「実践力」を兼ね備えた発達障害者支援の専門職を養成します。

※1 知的障害を含む

■児童指導員科のカリキュラム

●発達障害分野の専門的カリキュラム

本学科は昭和38年に開所した国立秩父学園附属保護指導職員養成所を前身として、平成24年度より国立障害者リハビリテーション学院へ組織統合されました。また養成所から長く培われてきたカリキュラムを発達障害児・者の支援者養成のためのカリキュラムとして発展させ、平成27年度から新カリキュラムをスタートさせました。

新カリキュラムでは講義と現場実践の結びつきをより重視しています。国リハならではの充実した実習環境と国内トップクラスの講師陣による講義を通して、発達障害児・者支援の専門性を身につけます(修業年限1年)。

児童指導員科カリキュラム概要(1800時間)

専門基礎分野				専門分野			
教員	社会福祉法	社会福祉制度論	医療福祉論	障害福祉論	専門基礎論	発達障害福祉論	発達障害支援論
				発達障害福祉論	発達障害支援論	事例研究	児童・実習
							特別研究



児童指導員科のカリキュラム構成

●個別支援計画に基づいた実習

実習では、講義などを踏まえて具体的な支援方法を学生自身が計画・実施し、振り返りやケースカンファレンスなどを適して支援方法を繰り返し検討します。



原研実習



ケースカンファレンス

●国リハが開催する研修会への参加

当センターでは年間を通して発達障害に携わる専門職向けに最新の知見を学ぶ研修会を開催しています。学生は学科での講義の他に、これらの研修会の全てに参加し共に学びます。

〈入学試験情報〉

・応募条件(先行試験、一般試験共通)
 4年制大学卒業または保育士資格取得者

・先行試験(定員:10名)
 試験内容:①小論文 ②口述試験 ③面接
 ※試験日・合格発表その他詳細は下記入試情報のQRコードより学院Webページをご確認ください。

・一般試験(定員:40名)
 試験内容:①国語 ②小論文 ③面接
 ※試験日・合格発表その他詳細は下記入試情報のQRコードより学院Webページをご確認ください。

入試情報



〈オープンキャンパス〉

※個別に対応いたします。
 学院児童指導員科へお気軽にお問い合わせください。



〒359-8555
 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
 国立障害者リハビリテーションセンター
 学院 児童指導員科



進路

●主な進路

公務員	社会福祉施設等	教育	その他
・都道府県庁 ・市区町村役所 ・社会福祉事業団 ・社会福祉協議会	・知的障害施設 ・児童養護施設 ・児童発達支援 ・保育園	・特別支援学校 ・小学校 ・中学校	・一般企業 ・各種NPO ・進学

様々な職場・職種・職務に応じて、発達障害者支援の専門性を活かします。
 → 発達障害のある人への適切な理解に基づいた支援。
 → 様々な問題や課題に対し、発達障害との関連も含めた理解に基づく対応。 など

●資格(任用資格※)

児童指導員

児童福祉司

知的障害者福祉司

社会福祉主事

※任用資格: 資格を取得後、当該職務に任用・任命されて初めて効力を発揮する資格
 ※1年間のカリキュラム修了をもって、これら4つの任用資格要件を満たします。

■児童指導員科 履修科目および特別講義(研修会)一覧

●児童指導員科 履修科目一覧

教育内容	科目分類	履修科目	履修時間			
			講義	演習	実習等	合計
教養		法学	16			16
		社会学	12			12
		心理学	12			12
		教育学	16			16
社会福祉論		社会福祉概論	24			24
		地域福祉論	16			16
		児童・家庭福祉論	18			18
		老人福祉論	16			16
社会福祉制度論		社会福祉行政論	12			12
		福祉事務所運営論	12			12
		社会保障論	18			18
		公的扶助論	18			18
医療福祉論		生活保護制度演習		16		16
		医学一般(医学概論)	16			16
		リハビリテーション概論	16			16
		看護概論	16			16
		乳幼児保健論	16			16
		介護概論	16			16
障害福祉論		生命倫理学	16			16
		身体障害者福祉論	12			12
		精神障害者保護福祉論	16			16
専門基礎演習		重症心身障害論	8			8
		心理検査		16		16
		面接技法		8		8
		メンタルヘルス		8		8
		接遇マナー		16		16
小計		322	64		386	

講義は15時間を1単位とする
 演習は30時間を1単位とする
 実習は4.5時間を1単位とする

教育内容	科目分類	履修科目	履修時間			
			講義	演習	実習等	合計
発達障害福祉論		発達障害医学	16			16
		発達障害福祉史	24			24
		知的障害者福祉論	16			16
		発達障害者福祉論	16			16
		ソーシャルワーク理論	16			16
発達障害支援論		児童発達支援論	16			16
		生涯発達論	16			16
		家族支援	18			18
		就労支援	16			16
		強度行動障害	16			16
		性と支援	16			16
		虐待	16			16
		酷法・非行	16			16
		研究方法		20		20
		支援技法		60		60
発達障害演習 (社会福祉援助技術演習)		個別支援計画	20			20
		コミュニケーション支援	20			20
		スーパービジョン	20			20
		カウンセリング	20			20
		福祉機器	20			20
		統計調査	20			20
		アセスメント	20			20
		多職種連携	20			20
		創作活動	20			20
		演習演習		16		16
事例研究		事例研究			40	40
		事例研究			40	40
見学・実習		見学			90	90
		実習			464	464
特別講義		特別講義			248	248
		特別研究			80	80
小計		216	276	922	1414	
合計		538	340	922	1800	

●特別講義(国リハ開催研修会)一覧

- 発達障害者支援センター職員研修会
- 発達障害者地域支援マネジャー研修会
- 巡回支援専門員研修会
- 発達障害地域生活・就労支援者研修会
- 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害支援者実習セミナー(基礎)(実践)

- 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害支援者入門研修会
- 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害支援者専門研修会
- 強度行動障害支援者養成研修
- 知的障害支援者専門研修会